「財政再建方針」と「第6次行革・財政再建計画」の整理

令和2年8月頃

令和3年3月頃

(仮)財政再建方針

<u> <目的></u>

■財政再建期間(R3~R7)を経た後に達成すべき姿を示す「(仮)第6次行財政改革・財政再建計画」に向けた<u>方向性を示す</u>もの

<内容(案)>

- ■目標値の設定(財政調整基金残高:●●億円など)
- ■目標達成に向けた方策の方向性

例:時間外手当の削減

- ●行政の守備範囲の見直しによる業務の見直し
- ●各種イベントにおける応援体制の見直し

例:補助金の見直し

- ●「補助基準」による時限措置の導入
- ●運営補助の廃止及び事業補助への転換
- ■目標達成に向けた進行管理(行革推進委員会の活用など)
- ■意識改革(これから求められる組織や意思決定のあり方など)

(仮)第6次行財政改革·財政再建計画

<目的>

■行財政改革の方向性を示した基本方針と具体的な取組項目を示すもの

大綱

<u><内容(案)></u>

- ■基本方針(例:歳入の確保など)
- ■推進体制・公表など

実施計画

<u> <内容(案)></u>

■具体的な取組項目の最終目標及 び年度毎の実施内容

<u><財政再建方針></u>

- "事業調査"及び"財政収支見通し"を基に、
 <u>適正な予算フレームや目標値(基金積立)など</u>を提示。
- ●財政再建計画に盛り込む**取組の方向性**を提示

<第6次行財政改革・財政再建計画>

- ●第5次行財政改革に"事業調査"による新たな項目を追加
- ●今後5年間の廃止・統合・縮小の年次計画を記載